

第233号

令和3年12月20日号

社会福祉法人　一誠福祉会

〒441-8066　豊橋市王ケ崎町字上原1番地145

TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



「さくら亭」でお茶を一服どうぞ　11月3日 文化祭　於　特別養護老人ホーム 作楽荘

目　次

随筆　箱根の山は天下の険……2　社会福祉法人一誠福祉会 理事長　滝川　一亮

回顧　2021年の出来事……3　社会福祉法人一誠福祉会 本部長　後藤　英夫

2021年の活動を振り返る……4～5　社会福祉法人一誠福祉会 総務部長　青山　勉

リハビリ講座　変形性膝関節症その④……6　老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任　杉本　昌洋

特技披露　私の生き甲斐……7　デイサービスセンター麗楽荘 介護士　加藤　宏紀

施設だより……8～15

＊作楽荘　荘内喫茶を行なって 管理栄養士　柵木　祐紀／いざ、幸公園へ 介護士　小林　正子

＊美光ハイム　「秋を楽しむ会」 介護士　菅沼　昌子

＊倶楽荘　炭火焼で秋を堪能 介護士　島﨑　良子

＊GHくらら　オリジナル鬼まんじゅう 介護士　小久保若奈

＊斯楽荘　笑顔を求めて 介護士　原田ひろみ

＊ベルヴューハイツ　リモート研修会 理学療法士　山本　祥子／白熱の大運動会 介護士　花井　大夢

＊DSC吉かわ　吉かわのイモ掘り 介護士　片岡　千晴

＊麗楽荘　秋の味覚を楽しんで 介護士　外狩　健太

＊デイサービス麗楽荘　テイクアウトデー 介護士　峯野　愛香

＊和光ハイム　外食に行こう 相談員　川上　裕之

＊GHうらら　中庭でお芋発掘 介護士　牧野　大也

＊奇楽荘　ボッチャを楽しもう 介護士　麻布由美子

＊GHきらら　秋の収穫祭 介護士　榊原亜矢子

施設日誌／編集後記……15～16

UD FONT　見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

随筆

箱根の山は天下の険

社会福祉法人一誠福祉会 理事長　滝川一亮

大学生時代は世田谷区経堂の下宿から小田急線で新宿を経由して中央線に乗り継ぎ、お茶の水まで通学していました。

片道約40分間の満員電車すし詰め地獄にどうしても耐えられず、そのうち自動二輪（中型）の免許を取ると、バイクで約30分かけて通学する様になりましたが、排気ガスのせいで学校に着く頃には顔が煤けてしまうし、道中危険がいっぱいでした。実際、毎年何らかの転倒や事故を起こしていましたし、雨の日や冬の通学はつらいものでした。それでも電車に乗らなくて済むだけでとても幸せでした。また、バイク屋主催のツーリングクラブに入会して、異業種の人達とバイク談義をしたり、週末ツーリングに行ったりと充実した時間を過ごす事ができました。

通学コースは、東京農大、三軒茶屋、渋谷駅前、青山通り、表参道、永田町、国立国会図書館、三宅坂、皇居、九段坂、靖国神社、日本武道館、神田を通ってお茶の水の大学に至るという、まさに、はとバスツアーも真っ青な観光コースを４年間通いました。ただ、理系の大学のためにカリキュラムがびっしり組まれており、講義や実習で朝から夕方まで缶詰状態だったためにほとんど遊ぶ暇が無く、コース沿いの観光スポットに立ち寄る事はほとんどできませんでした。今思うと本当に勿体ない話です。

年末年始には交通費節約の為、バイクで豊橋に帰省していました。高速道路を利用して片道約５時間かけて帰省するのですが、友達から実家の倉庫に眠っていたホンダバイアルスＴＬ50（１９７６年発売）という中古の原付トレールバイクを５千円で買って、下道で豊橋に帰省するという無謀な挑戦をした事があります。学校が終わってから夜に出発し、約10時間かけて帰ったと記憶していますが、丁度、丑三つ時に、箱根の旧道を越える事になってしまい、誰もいない真っ暗なつづら折りの峠道を、エンジンが止まりそうなおんぼろ原付で、寒さと怖さとお尻の痛さに泣きそうになりながら走ったのを憶えています。今、同じ事をやれと言われればとてもできませんので馬鹿げたチャレンジでしたが、あの時にやっておいて良かったと思います。

来年の干支の寅には、その勇猛さから決断と才知の象徴としての意味もあるそうです。皆さんもやりたい事がある時は、先延ばしにせず、決断される事をお勧めします。

年明けの箱根駅伝で、母校を応援するのも正月の楽しみです。

皆様、良いお年をお迎えください。

回顧

２０２１年の出来事

社会福祉法人 一誠福祉会 本部長　後藤 英夫

２０２１年もコロナで始まり、コロナで終わろうとしています。

ちょうど2年前、中国の武漢から始まった新型コロナウイルス感染は、瞬く間に全世界に広がり、各地で独自の変異を繰り返しました。今では世界中の流行株のほとんどがデルタ株になっています。そしてこの2年間で感染者数は、延べ2億５７００万人、死者数５１６万人に達しました。日本では、所謂感染第5波を乗り越えたとたんに、「あれは一体何だったの?」と思うぐらい感染者数が激減しております。

半面、特にヨーロッパ圏域では今までにない感染拡大が起きています。この差はワクチン接種率とマスク着用率の違いではないかと言われている。日本のワクチン接種率は世界No.1、マスクについても感染が激減したにもかかわらず常時着用していることに比べ、メディア映像から外国での日常生活はマスクせず、無防備で三密、感染前の生活を送っており、感染拡大しないことが不思議です。また最近、新たに発見された新種変異株「オミクロン」は、未知のところが多く非常に恐怖を感じます。ノーベル賞に値するm-RNAワクチン・マスク・手洗い・三密回避・投与間近の飲み薬でもって、来年の今頃はコロナがただの風邪と言われる日々になっている事と期待したい。

国内に目を向けますと何といっても、1年遅れで開催された「２０２０東京オリンピック・パラリンピック」。開催の是非は別として世界のトップアスリートの競技は、無観客であっても、wonderful でありました。選ばれた母国選手達の国の威信と自己のプライドを掛けた競技は心に響きました。中でも難病と戦い克服し、国内選考を自分の力で戦い代表をもぎ取った池江璃花子さんには成績関係なく感動しました。

また法人の大きな出来事は、理事・監事・評議員の4年に一度の同時改選でした。今回で退任された方々には、長きにわたり法人の経営にご尽力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。また、施設長の交代もありました、今後も法人の理念を引き継ぎ、若い力で答えのない時代を乗り越え邁進していただきたいと思います。眼張れ!!

最後は自分です。失うものが多く意気消沈の年でした。趣味の鮎網漁・友釣りも行けず不完全燃焼でした。来年のことは解かりませんが、大きな声で笑える一年でありたい。



2021年の活動を振り返る

社会福祉法人一誠福祉会 総務部長　青　山　勉

1. 新体制による法人運営

理事・監事・評議員の任期満了に伴い、左記のとおり役員が選定され、新体制による運営が始まりました。

【理事長】
滝川　一亮

【理事】
滝川　一亮
岩﨑　章
後藤　英夫
青山　勉
小島　寛晶
近藤　利彦
高橋　豊彦
夏目　工
波田野きくよ
平石　雅康
松井　章泰
三宅　唯夫
※任期約４年

【監事】
佐藤　敏和
佐藤　征子
※任期約２年

【評議員】
近田　祥子

2. コロナの脅威は今年も

一昨年の12月、中国の武漢市から始まった新型コロナウイルスの猛威が今年も世界中を席巻しました。特にデルタ株の感染拡大により、8月20日には過去最多の1日25,851人の新規感染者数を記録しました。３回の「緊急事態宣言」の発出、さらに「まん延防止等重点措置」（まん防）なるものも発出されました。医療崩壊も問題視され、国民は一時パニック状態となりました。福祉現場でも同様、感染防止の徹底や面会の制限、行事の縮小等、その対応に苦慮し、今も息が抜けません。さらにオミクロン株が新たに出現し、先行きはまだまだ不透明です。

3. コロナワクチン接種

新型コロナウイルス感染予防、また重篤化を防ぐ目的から、5月14日～6月20日の間に入居者様・職員に対し、各施設において1人2回ワクチン接種を行ないました。ファイザー社のワクチンですが取扱を重々注意し、余らせないように接種日ごとに人数を割り振りする等、事前の準備に時間を費やし、そのかいあって事故なく無事に延約1,440回の接種を行なうことができました。

なお、職員とケアハウス入居者様に対して副反応調査を行ない、当誌「作楽」231号にその結果を掲載しました。



4. 聖火ランナーを務め

４月６日、ＴＯＫＹＯ２０２０の聖火ランナーとして、デイサービス作楽荘の清川哲央（機能訓練員）が豊川市開運通で

２００mを走りました。昨年はオリンピックが延期となったため走れなかった夢を叶えることができました。その後、使用したトーチやユニフォームを市内の小学校や特別支援学校等に展示させていただき、体験や想いを伝える活動をしています。



5.ウイズコロナでの行事

コロナ禍、密を避けるため、行事の中止や縮小を余儀なくさせられた２０２１年。しかし、秋ごろからコロナウイルスの感染拡大が小康状態になってきたため、９月20日の敬老の日に、出来る範囲で敬老祝賀会を行ないました。当日は3施設の会場で開式をし、内輪での式典でしたが、理事長には各会場を回っていただき、中身もオンラインでライブ配信をしたり、事前に収録した和太鼓演奏を披露したりと、趣向を凝らしての式典となりました。その後も運動会や文化祭の行事等も工夫して行ない、少しずつ日常に戻しています。



6.特養作楽荘大規模修繕

特別養護老人ホーム作楽荘の本館は昭和63年に竣工し、当法人では一番古い施設です。中・長期事業計画の一つとして、計画的な建物の修繕があります。その計画に基づき昨年の11月から今年の5月の工期の予定で作楽荘本館の空調・照明取替工事が執り行なわれました。しかし、コロナの影響により、今年の6月にやっと完工しました。

7.リモート研修開催

コロナの影響で昨年は多人数で研修を行なうことが出来ませんでしたが、今年はリモート研修で多くの職員が受講できるよう環境を整えました。その先駆けとして3月17・18日に新人研修会を開催。一施設から講義を配信。他の２ヶ所ではライブで受講できるようになりました。

8.介護報酬の改定

今回の改定率が＋0.7と２期連続でのプラス改定となりましたが、算定条件や廃止加算を考えると手放しには喜べません。主な中身は、感染症及び災害への対策、ＩＣＴの活用、ハラスメント対策の強化、高齢者虐待・事故防止、署名・押印の見直し、無資格者への基礎研修受講の義務付け等々。さらにケアの質が問われるようになりました。

リハビリ講座

変形性膝関節症 その④

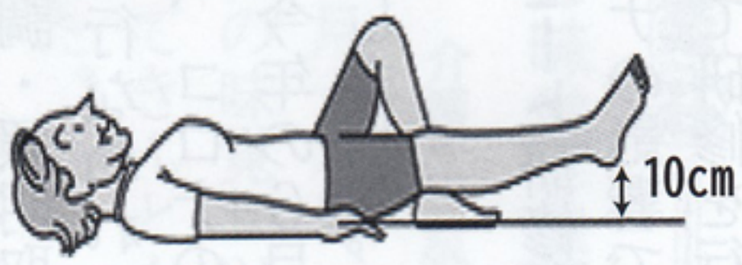
老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任 杉本昌洋

今回は変形性膝関節症の予防や症状の改善が期待できる運動療法を紹介します。

前述のように変形性膝関節症は膝の軟骨が、すり減ることにより痛みが起こります。運動をすれば軟骨が元に戻るわけではありませんが、膝の周囲の筋肉を強くして関節のぐらつきを抑え、軟骨への負担を減らせば痛みを軽減させることができます。特に重要なのが太ももの前面にある、大腿四頭筋という膝を伸ばす筋肉です。筋肉を鍛えるというと長い距離を歩くことや階段の上り下りを連想されるかもしれませんが、それでは逆効果になってしまう心配があります。平らな道を歩くだけでも膝には体重の2.5倍、階段では3.5倍以上の負担がかかるといわれています。これでは軟骨の破壊がますます進行してしまいます。ただし、適度な歩行は痛み物資の発生を抑え、関節の動きを円滑にする関節液の産生をもたらしますので必要です。

では、膝に荷重のかからない横になってできる筋力トレーニングの方法を紹介します。これは『今日の健康』に必ず登場してくるやり方です。

膝をしっかりと伸ばし、踵を5秒間10cm程度あげ、ゆっくりと下ろします。高くあげてしまうと十分な効果が得られません。また腰に負担をかけないように反対の脚の膝は必ず曲げておきます。つま先が自分の顔の方に向くようにやれば、つまずきにくくなる効果があります。まずは左右それぞれ10回から始めて、20回を目標に少しずつ増やしていきましょう。



SLR運動（脚あげ体操）

椅子に座ってやる方法もあります。しっかりと膝を伸ばし、つま先が顔の方に向くようにします。他にも方法がありますが、これらの方法でやってみてください。

筋力トレーニングの効果がすぐに現れる場合もありますが、やはり時間はかかると思います。しかも単純で退屈な運動なので長続きさせるのも大変ですが頑張って下さい。


↑5秒間止める

特技披露

私の生き甲斐

デイサービスセンター麗楽荘 介護士 加藤宏紀



私には恥ずかしながらこれといって特技はありませんが生き甲斐と思っていることがあります。それは音楽を聴くこと、ライブに行くこと、カラオケで歌うことです。しかしコロナ禍の今、ライブ会場に行くことや、カラオケに行くことが出来なくなってしまった為、現在はインターネットでのライブ配信を観たり、自分の車の中で歌を口ずさんだりして楽しむことが自分の生き甲斐となっています。

そんな私が音楽を生き甲斐といってしまう程好きになったきっかけは、今から20年前の学生時代に友人から、あるバンドの曲を薦められてCDを借りて聴いたことでした。そのバンドは『175R』というバンドです。それまでの私はテレビでよく流れてくるような流行歌しか知りませんでした。しかしそのバンドの曲を初めて聴いた時、衝撃が走りました。「日本人なのに英語の歌詞を歌っている！」と圧倒されたこと、そして何より前向きになれるポジティブな歌詞に魅了されました。それ以来、悩み苦しい時に彼らの曲を聴いて元気をもらうようになりました。いつしか自分の原動力になっていたのです。皆さんの原動力って何でしょうか？原動力があると心強く感じる気がします。

さて、今現在私はデイサービス配属ですが、歌の好きな利用者様もたくさんみえます。カラオケで流れている曲を楽しそうに口ずさんでいる姿を拝見すると何だか嬉しい気持ちになります。

歌を口ずさんでいらっしゃった利用者様に、「歌お上手ですね！」とお話すると、「いやいやそんなことないよ。でも歌うことが好きだもんで」と照れ臭そうにされていましたが表情はとてもにこやかで嬉しそうにお話してくださいました。「昔よくカラオケ教室で歌っていたことがあるよ」とお話してくださる利用者様もいらっしゃいました。

その利用者様は舞台に立って歌ったことがあるそうなのですが、実は私も舞台の上で歌った経験があります。なぜなら数年前歌が好きという理由だけで歌の教室に通っていたことがあるからです。観て頂いた方に、「良かったよ」とか「上手だね」と言って頂くととても嬉しい気持ちになりますし、また頑張ろうと思うことができます。

まだコロナが収束していない現在、大きな声で歌ってのレクリエーションはなかなか再開は難しいですが、今できることを日々考えながら利用者様に楽しみ喜んで頂けるよう頑張ります。

施設だより

作楽荘

○荘内喫茶を行なって

管理栄養士　柵木　祐紀

11月18日・19日に荘内喫茶を行ないました。荘内喫茶は特養の入所者様に普段は中々味わえない喫茶店の雰囲気を味わっていただこうと去年初めて実施し、今回で二回目となります。

喫茶店の雰囲気を出す為、デイルーム内の机にテーブルクロスを敷き、参加する職員は白シャツに茶色のエプロンを着用。メニュー表も作成し、用意した飲物の中から好きな物を選んでいただきます。メニューはメロンクリームソーダにコーヒーフロート、ウインナーコーヒーに紅茶や甘酒など。飲物と併せてクリームぜんざいも提供しました。皆さんは普段とは違う雰囲気をとても楽しんでいただけたようで、飲物やぜんざいを何度もおかわりされる方もたくさんいらっしゃいました。

普段と少し変えて工夫することにより、入所者様の楽しそうな笑顔を見ることができて、とても嬉しく思いました。



喫茶店に来たみたい♪

○いざ、幸公園へ

介護士　小林　正子

買物や外出が思うようにできなくなってしまい、入所者の皆さんのストレスが昨年にも増して見られるようになりました。例年通りにはいかなくても、ゆったりと外の空気に触れて頂きたいと思い、今回の外出の計画をしました。

いざ幸公園へ出発。身支度を済ませ、車に乗り込んだ瞬間、「やっと外に出られる」と、とてもはしゃいでいる姿が見られました。少し外へ出るだけでこれだけの反応が見られました。公園に到着後、園内を散策、持っていったお菓子とジュースで休憩していると、「空気が冷たくなったね」「お日様が温かいなあ」など、荘内では聞けない皆さんの色んな言葉を聞くことができました。外へ出たことで、肌で感じた季節感、自然の感触に入所者様の気持ちが開放されたのだと感じました。

今回は少人数での外出となりましたが、早く皆さんで以前のように外出行事が行なえると良いなあと思いました。



お日様が温かい

美光ハイム

○「秋を楽しむ会」

介護士　菅沼　昌子

美光ハイムでは秋の行事の一つに「秋を楽しむ会」があります。秋で思い浮かべるのは柿・栗・葡萄・サンマ等々、やはり食欲の秋。

入居者の皆さんに希望を募ったところ、「今回は栗おこわが食べたい」との意見が多く、おこわ専門店の「たごさく」の栗おこわとシャインマスカットを提供いたしました。さすが専門店だけあって大粒の栗がゴロゴロとおこわの中から顔を出しています。「凄い大きな栗」「シャインマスカットはお高いでしょ、もったいなくて食べられない」「マスカットの色がきれい」と、あちらこちらから声がしました。


食で秋を満喫

「柿もサンマも食べてみたい」と、皆さん食の欲求は尽きません。「香嵐渓の紅葉はまだかね、きっときれいだよね」とさらに話が弾み、秋を十分楽しまれていました。

外出が出来ず、施設内で行なえる事は限られていますが、今後も皆さんが喜んで頂けるような行事に取り組んでまいります。

倶楽荘

○炭火焼で秋を堪能

介護士　島﨑　良子

定期的に行なっている楽しみの一つにイベントランチがあります。私が入職してから三回目の担当となり、この催し物の良さと大切さを感じています。入居者様からリクエストをもらい、秋刀魚の声が(秋といえばこれですもの)。ぜひ食べていただきたい！でもいかに美味しく食べていただくか。そこはやはり秋刀魚＝七輪のイメージ。それしかない。題して、「リクエストいただいた物や旬の物を七輪で焼いて一味違う昼食を堪能」に決定。メニューは秋刀魚のほかにさつま芋・茸・鮭・焼き鳥・ホタテ等々、沢山のリクエストに応えました。

当日、七輪が懐かしかったようで炭火焼きに皆さん釘付けでした。味は「そりゃそうだてー。焼いてすぐ食べりゃー美味しいだもんで」と大絶賛。

終了後に、「今日は有難とね。ご馳走様」と職員一人ひとりに労いの言葉をかけて下さいました。この言葉を大事に今後も皆さんに喜んで頂ける様工夫していきたいです。


最高に美味しい

GHくらら

○オリジナル鬼まんじゅう

介護士　小久保 若奈

グループホームくららでは毎月、季節の食材を使って手作りおやつを作っています。11月のメニューは、皆さんが大好きなサツマイモを使った鬼まんじゅう。

鬼をイメージし、ゴロゴロとしたサツマイモを皆さんと協力してカット。途中、「少し潰した方がいいんじゃないか？」との声に急遽ゴロゴロイモを潰すことに。

皆さんの力が発揮され、イモが見事にペースト状。「あれ？イモが無くなっちゃったね」と鬼まんじゅう独特のゴロゴロ感が無くなってしまい、皆さん苦笑い。「こんな鬼まんじゅうもいいね」とそんなことはお構いなく、新しい料理が出来たことを喜ばれていました。私は皆さんの心に鬼がいないからこの料理が出来たんじゃないかと、ふと心の中で思いました。

自分たちで作ったおやつがやはり一番です。少しでも幸せな瞬間が訪れるよう、思い出が残せるよう、一緒に時を過ごしていきたいと思います。



オリジナルな鬼まんじゅう

斯楽荘

○笑顔を求めて

介護士　原田 ひろみ

私は楽しい事が大好きです。笑い声が大好きです。コロナ禍で外出が難しい今、入居者様に施設内で何か楽しんで頂く事を常に考えています。やはり普段なかなか食べられない美味しい物を食べて頂く事だと思いました。

どこか懐かしく、お味噌が美味しい五平餅を昼食に、旬のさつま芋を使いおやつに手作り鬼まんじゅうを食べる企画を考え行ないました。

思った通り大好評でした。津具村の胡桃味噌を使った五平餅の焼ける匂いは食欲をそそり、良い笑顔でペロリとたいらげました。鬼まんじゅうもふかふかで美味しいと言ってもらえました。



がぶり、ぺろり、おいしい

しかしながら入居して三カ月経つ女性の方がいますが、まだ一度も笑顔を見た事がありません。以前主任が「斯楽の斯は〝これ〟〝この〟と読み、ここは楽しい所と言う意味がある」と言っていました。終の棲家として選んで頂いた以上、すべての方が笑顔で暮らせるよう寄り添っていきたいです。

ベルヴューハイツ

○リモート研修会

理学療法士　山本　祥子

11月6日・7日の2日間、「臨床実習指導者講習会」にリモートにて参加しました。これは以前からベルヴューハイツで受け入れていたリハビリの実習生に関して、改めて見直しが行なわれたことによる法改正がなされたことに起因します。

処理しきれない量の課題やレポート作業の実習を無くし、より実地的で学生の権利が守られた実習を行なっていくためにどのように指導していくべきか、といった内容の講習となっています。

私自身ベルヴューハイツで理学療法士として働き始めて8年になりますが、まだまだ受け持った学生は片手で足りる程度で、学生との距離感や指導方法などなど悩むことばかりです。

今回の講習会では、様々な経験年数の理学療法士の先生方が総勢60名参加されており、講義を聴くだけでなく、6人グループによるディスカッションの時間も設けられていました。普段あまり関わることのない急性期病院やクリニックで働く先生方のお話はとても貴重で大変勉強になりました。

これから実習に来る学生の模範となれるように、改めて自分を見直すことが出来た有意義な講習会でした。

○白熱の大運動会

介護士　花井　大夢

今年の大運動会は、昨年出来なかった2階対3階での対抗戦です。まずラジオ体操をして準備万端。臨戦態勢で激突します。最初の種目は「玉入れ」です。入所者の皆さんで作った円の中を職員が籠を持って走り回り、時間内にどちらが多くその籠に玉を入れられるかの勝負。接戦の末、2階の先勝で開幕です。ハーフタイムには風船バレーで身体をほぐし、いざ次の戦いへ。

2種目は「綱引き」です。綱を引っ張り合うと転倒などで危険な為、職員2人が乗った車椅子をどれだけ引っ張れるかのタイムトライアルです。1戦目を落とした3階が職員と力を合わせて意地の勝利。勝ち星をタイに持ち込みました。

全ての競技が終わり決着が付かず急遽、2階と3階職員代表による「粉飴食い競争」で決することに。火花散る最終決戦です。結果は顔を真っ白にした2階担当の今泉介護士がテープを切り、白熱した戦いは2階の優勝となりました。



絶対に勝つぞ！

DSC吉かわ

○吉かわのイモ掘り

介護士　片岡 千晴

十月下旬の穏やかな昼下がりに「イモ掘り」を行いました。事前によく茂った蔓を切り落とし、掘りやすい状態にしておきます。利用者の皆さんは、「今年のイモはどうかな」などと言いながら畑に足を踏み入れ、蔓を引っ張り上げると、「うわ！大きい！」「すごく立派！」と大興奮。確かに昨年に比べてたくさん実り、中には顔が隠れるほどのサイズもありました。所々でイモを片手にパシャリ📷籠に入りきらない量のイモが穫れました。



ザクザク穫れるぞ！



片手じゃ持てん

大まかに仕分けを行って玄関内側で保管兼お披露目。「今年はよう穫れたね」「早く焼きイモにして食べたい」との声が多く聞かれました。この号が発刊される頃には焼きイモや天ぷら、お菓子にしてお召し上がりいただいています。

麗楽荘

○秋の味覚を楽しんで

介護士　外狩 健太

十一月十八日、麗楽荘では秋の味覚サツマイモを使ってきんとん作りをしました。

サツマイモが茹で上がったのを見ると皆さんのテンションは最高潮に。茹で上がったサツマイモに砂糖・牛乳・バターを加えてつぶしていきます。バターとサツマイモの匂いがフロアー全体に広がり、それをラップで形を作っていきます。皆さん上手に絞って整えてくださいました。その時の皆さんの「早く食べたいな～」の顔、しっかりキャッチしましたよ。あっ！つまみ食いをされていた事も（笑）。

そして待ちにまったおやつタイムです。皆さんご自身で作られたきんとんをとてもおいしそうに召し上がられていました。

現在コロナ禍でなかなか季節を感じられる機会は少ないので、おやつ作りを通して季節を感じて頂けたかと思います。

さらに美味しいおやつの作り方を学んで皆さんと一緒に楽しみたいです。



食欲の秋！いただきます

デイサービス麗楽荘

○テイクアウトデー

介護士　峯野　愛香

十一月十六日は令和３年度の事業である月一回の昼食テイクアウトデーです。

お弁当の注文内容に間違いがないか、個数は足りているか、前日からその準備でスタッフは大童です。

そして翌日のお昼の時間、かつ丼・玉子丼・鶏めし弁当、おやこ鶏ごぼう丼。皆さんに選んでいただいていたお弁当を間違えないように提供しました。「まあ美味しそう」「あんたはそれにした」「半分こしようかな」など、楽しそうな言葉があちらこちらから聞こえてきます。普段は食が進まない方も、すぐに完食されてしまいました。


外食している気分です

「美味しくて食べ過ぎた」「お腹一杯」など嬉しい声を沢山いただき、スタッフも安堵感で胸をなで下ろしました。

と、ほっとする間もなく次のテイクアウトデーではどんな食事を提供するか、もうすでに活動開始なのです。

和光ハイム

○外食に行こう

相談員　川上　裕之

コロナによる緊急事態宣言解除後、11月８日と12日で二班に分かれ、当然感染対策を徹底したうえでお昼の食事に出かけました。行き先は、「こんたく長篠」「うな善」２店からの希望選択です。

「こんたく長篠」の焼肉レストランでは、地元の農家の方々が丹精込めて育てた『鳳来牛』を食べることができます。おすすめは、サーロインやヒレなどたっぷりと堪能できる「スペシャルセット」なのですが、カレーライスも評判でカレーを食べられていた方が多かったようです。私もカレーをいただきましたが、ひと味違うおいしさでした。

「うな善」は活うなぎを炭火で焼いて味わう関西風のうなぎ専門店です。ひつまぶしも美味しいですが、うなぎそのものの味が堪能できる白焼きがおすすめです。わさびと生姜、どちらで食べても炭の香りがほんのり残って、上品な味わいです。肝吸いもおすすめです。

両日とも皆さんお腹いっぱいに食べられご満悦の様でした。


どっちにしようかな

GHうらら

○中庭でお芋発掘

介護士　牧野　大也

皆さん、今年の秋を満喫されましたか？秋といえば読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋ですが、自分の中では断然食欲に一票入れたいと思います。

そういう訳で先日グループホームうららでは入居者の皆さんに手伝ってもらい、中庭に植えたさつま芋を収穫しました。

皆さんで土を掘っていると大きい芋から小ぶりな芋までゴロゴロと収穫ができ、楽しそうに掘っていました。穫れたさつま芋は職員の方で蒸し芋にして皆さんに提供させていただきました。

蒸した芋を提供すると皆さん、「美味しい美味しい」と召し上がっていましたのですが、なんと、私はたのですが、なんと、私は幼少の頃よりさつま芋が苦手で食べられないという落ちがあり、皆さんと一緒に食べる喜びを分かち合う事が出来ませんでした。

来年には何とか克服して皆さんと一緒に喜びを共有できるようになればと思うばかりです。



美味そうに育ったや～

奇楽荘

○ボッチャを楽しもう

介護士　麻布　由美子

去る10月27日、奇楽荘2階セミパブリックスペースにて運動会を開催しました。

競技はヨーロッパ発祥で運動能力に障害のある競技者向けに考案された「ボッチャ」というスポーツを採用しました。名称はボールという意味のイタリア語が由来だそうです。そして、その魅力は、誰でも何処でも出来る、更にルールが簡単な事です。「ジャックボール」と呼ばれる白いボール（目標球）をまず投げて、青赤それぞれが6球ずつボールを投球、どれだけそれに近づけられるかを競い合うものです。

奇楽荘では手作りのボールを用意し、独自のルールでより多くの方々が参加出来る様にしました。

当日は、各ユニットから総勢16名が集まり、団体戦と個人戦を行ないました。競技が始まり、少し緊張気味に投球されていたり、戸惑ったりしている方もみえましたが、時間の経過と共に参加者や職員の拍手、笑いにより楽しく和やかな雰囲気に変わっていきました。

新型コロナの影響に伴い制約がある中でも、入居者様の沢山の笑顔や、生き生きとした表情を見る事が出来て良かったです。今後もこの様な機会を作りサポートしていきたいと思います。

GHきらら

○秋の収穫祭

介護士　榊原　亜矢子

10月下旬、きららの菜園でさつま芋・里芋を収穫しました。今年は数も少なく小ぶりな物が多かったため、ご家族様や地域の方からも芋を頂き、何とか収穫祭を行なえる量が揃いました。

11月上旬、秋の食材が揃い収穫祭がスタートです。さつま芋で焼き芋・芋羊かん、里芋でみそ焼き・けんちん汁、そして今回メインの秋刀魚です。テラスで炭を起こし焼きました。皆さんで秋刀魚の焼き上がりを今か、今かと待ちわびるうちに室内にも秋刀魚の香ばしく美味しそうな匂いが漂い、入居者様は、「今日はご馳走だ」と嬉しそうにおっしゃっていました。

青空の下、テントを広げて昼食会です。最初に焼いた秋刀魚は多く焼いたので少し冷めてしまいましたが、炭で焼いたためか冷めても香ばしく、「美味しいね」と頬張る入居者様が多かったです。室内に秋刀魚の匂いが残り「残った匂いもご馳走だ」と談笑しました。



じっくりといい色に

本部日誌

令和3年11月

17日　本部会議(於 斯楽荘)
18日　木の花会幹事会(於 ベルヴューハイツ)

作楽荘日誌

令和3年11月

2日　中野地区民生委員定例会 包括(於 中野地区市民館)
3日　文化祭
5日　インフルエンザワクチン接種 福岡地区民生委員定例会 包括(於 福岡地区市民館)
8日　給食会議
11日　寿司祭り 広域ケア会議(於 大清水センター)
16日　職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任 於 大清水センター) 職種別会議(社会福祉士)(有馬主任・大塚副主任 於 市役所)
18日　荘内喫茶(19日)
22日　焼き芋会
29日　誕生日会食 連絡会議

美光ハイム日誌

令和3年11月

3日　文化祭
4日　茶道クラブ 美光教室
8日　カラオケ練習会(9・14・21・23・28日) インフルエンザワクチン接種 アフタヌーンコンサート
9日　カラオケクラブ(23日)
16日　健康体操クラブ
18日　華道クラブ
19日　茶話会

俱楽荘日誌

令和3年11月

11日　訪問マッサージ(22日)
17日　イベントランチ
19日　インフルエンザワクチン接種
24日　防災訓練
25日　倶楽荘連絡会議
27日　イベントランチ 誕生日会
29日　定例会・健康チェック

GHくら日誌

令和3年11月

11日　訪問マッサージ(22日)
19日　インフルエンザワクチン接種
22日　おやつ作り
24日　防災訓練

斯楽荘日誌

令和3年11月

1日　連絡会議 職員健康診断(於 タキカワ整形外科クリニック ～5日)
2日　イベントランチ(Aユニット)
4日　Cユニットミーティング
9日　排泄勉強会
16日　Bユニットイベントランチ
18日　Bユニット誕生日会
19日　インフルエンザワクチン接種
26日　メンタルヘルス研修(榊原副主任 於 豊橋商工会議所)
28日　連絡会議(於 作楽荘)

ベルヴューハイツ日誌

令和3年11月

4日　地域ケア会議(堀内主任・菅沼・山﨑・羽田 於 吉田方地区市民館)

DSC吉かわ日誌

令和3年11月

3日　文化祭
15日　～季節の花週間
芸能慰問（金田「ひよこ」様）
22日　虐待防止委員会
23日　感染対策委員会
24日　防災委員会
26日　習字教室（佐藤征子講師）
27日　ミーティング
虐待防止研修（虐待防止委員）

麗楽荘日誌

令和3年11月

文化祭（2F）
5日　文化祭（3F）
8日　職種別会議（堀内主任 リモート会議）
インフルエンザワクチン接種
10日　ケアマネ研修会（堀内主任 リモート会議）
地域ケア会議（堀内主任・菅沼・山﨑・羽田 於 吉田方地区市民館）
介護予防大会実行委員会（羽田 於 豊橋市役所）
12日　インフルエンザワクチン接種
16日　連絡会議
職種別会議（社会福祉士）（菅沼 於 豊橋市役所）
18日　地域ケア会議（堀内主任・菅沼・山﨑・羽田 於 吉田方地区市民館）
19日　介護予防大会
21日　誕生日会（3F）
23日　職種別会議（社会福祉士）（菅沼 於 豊橋市役所）
24日　職種別会議（保健師）（山﨑・羽田 あいトピア）
28日　誕生日会（2F）

和光ハイム日誌

令和3年11月

1日　和の会
2日　生け花教室（加藤温瞳講師）
歯科健診（9日）
3日　芸術祭
4日　外食（こんたく長篠）
5日　歯科健診
10日　結カフェ
11日　体操教室（今泉勝代講師、25日）
12日　外食（うな善）
24日　書道教室（加藤美代子講師）

GHうらら日誌

令和3年11月

3日　文化祭
2日　生け花クラブ（加藤温瞳講師）
3日　芸術祭、ワックスがけ
4日　新城市介護認定審査会（海野副主任）
8日　介護実習（宝陵高校3名、～19日・2名、9～12日・2名、16～19日）
9日　給食会議
16日　デイサービステイクアウトデー
17日　寿司祭り
18日　職員インフルエンザワクチン接種（茶臼山厚生病院、25日）
19日　連絡会議・入所判定会議
22日　社会福祉施設指導監査（東三河広域連合）
24日　書道クラブ（加藤美代子講師）
茶々・研修委員会荘内研修
「腰痛予防体操」（講師 アオラニデイサービス松崎氏）
25日　誕生日会食
27日　令和3年度愛知県看護協会地域包括ケア推進委員会交流会（夏目香主任・熊谷 リモート参加）

奇楽荘日誌

令和3年11月

5日　認知症実践者研修（夏目主任 於 アイプラザ豊橋）
8日　認知症対応型サービス事業管理者研修（太田 於 西三河総合庁舎10階大会議室、9日）
25日　入居者誕生日会
26日　焼き芋会

GHきらら日誌

令和3年11月

4日　秋の収穫祭
9日　訪問診療（宇利）
11日　訪問診療（吉祥）
19日　運営推進会議
25日　防災訓練
28日　俺ん家食堂練

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・
施設概要・ブログ等を公開

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキを使用しています。

編集後記

今年もコロナウイルスの猛威が世界中に暗い影を落とした。その中で、今年の流行語大賞にもなった「リアル二刀流／ショータイム」の大谷翔平選手の活躍は大変目覚しいものがあり、彼の一挙手一投足でみんなが歓喜した。まさしくスーパーヒーローであった。

その大谷選手であるが、高校卒業と同時に大リーグに行く決意を固めていたが、日本の球団、日本ハムからの熱意・真剣さ、そして何よりも相手に寄り添った緻密なプレゼンにより、日本球界でプレーすることを自ら決めた。

人材育成は、自らの意思で選択できるよう道筋を作ってあげることが大切。指導する側は前文のキーワードを誠実に実践していけば、ヒーローは自ずと身近で誕生するものである。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。（T・A）